

## 第1回和泉デイサービスセンター運営推進会議 会議録

事業所名	和泉デイサービスセンター わくわく館
開催日時	平成28年10月18日(火) 14時00分～15時30分
開催場所	和泉地域福祉センター 和室
参加者	利用者家族 2名 和泉自治会会長 1名 和泉民生委員児童委員協議会主任児童委員 1名 老人クラブ和泉会会長 1名 介護支援専門員 1名 大野市民生環境部健康長寿福祉課補佐 1名 大野市社会福祉協議会事務局 2名 事業所職員 2名
議題	①委員紹介 ②指定地域密着型デイサービスと運営推進会議について ③協議事項(利用者の状況、デイサービスの状況、事故とその対応、苦情や要望などの状況、非常災害時の対策など) ④サービスに対する要望、助言などについて ⑤その他

### 会議録

#### 【指定地域密着型デイサービスと運営推進会議について】

和泉デイサービスセンターは介護保険制度施行(平成12年4月1日)に合わせて県の許可を受けて、利用定員15人で事業を開始しました。過去3年間で1日の平均利用者数も年々増えてきており、それに伴って平均介護度も上がってきています。平成28年4月1日からは介護保険法の改正により、利用定員が18人以下の通所介護事業所は、「地域密着型通所介護事業所」に移行となりました。さらに地域密着型通所介護事業所は、運営推進会議を設置し、6ヶ月に1回以上開催しなければならぬようになりました。

運営推進会議とは地域との連携を図るため、利用者や利用者家族、地域代表者(自治会、民生委員等)、市職員等で構成され、提供しているサービス内容等を明らかにし、事業所による利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスを提供することで、サービスの質の確保を図ることを目的として設置する協議会です。

#### 【利用者の状況】

現在デイサービスの利用者定員は15人に対し、登録者数29人(男性6名、女性23名)となっています。平均介護度は1.9で1日の平均利用者数は12.8人です。これは和泉地区の65歳以上の約13%

にもなり、診療所の先生の在宅医療への推進が大きく影響している。10月からは利用者の増加に伴い、利用定員を18人に増やし、さらに利用者のニーズに答えられるように努めます。

#### 【デイサービスの状況】

営業日は月曜日から金曜日の9時から16時30分までとなります。1日の流れはお迎えに行きデイサービスに到着後、水分補給とバイタルチェック、体操を行います。10時頃からは入浴を開始し、入浴後には水分補給も行います。11時30分過ぎには昼食の準備として、口腔体操を行い、昼食後には口腔ケアも行っていただきます。午後2時からレクリエーションとしてゲームや脳トレ、回想法などを行い、15時からはおやつと水分補給を摂っていただきます。帰宅前には再度体操を行い、ご自宅まで送迎を行っています。また4月にはお花見、5月には山菜取りといったような季節の行事を定期的に行っています。

#### 【事故とその対応】

事故の対応としてデイサービスでは、車椅子ごと傾きそのまま後転し後頭部を打撲した事故がありましたが、発見しすぐに駆けつけ、ケガなどの確認を行い、車椅子のまま診療所受診を行いました。この事故の対策として、注意事項を看板に書き用意する、利用者個々の行動の把握に努めるなどを行っています。

#### 【苦情や要望などの状況】

苦情や要望などの声は特にありません。

#### 【非常災害時の対策】

年2回、避難訓練実施計画書を消防署へ提出し、1回は自主訓練、2回目は総合訓練を実施しています。

#### 【サービスに対する要望、助言などについて】

- ・利用者の家族としては、利用者のどんな些細なことでもいいので知りたい。こんなことがあったなどデイでの様子を少しでも知れると嬉しい。
- ・デイサービスに対してもっとみんなに理解されるように、お試しで土曜日や日曜日にデイサービスを開放して公開してみてもどうか。
- ・デイサービスと診療所との連携が素晴らしい。診療所の先生にもっとデイサービスのアピールをしてもらってはどうか。
- ・和泉地区の1人暮らしの世帯はどの程度あるのか。また、そういった周りに縁者のいない方が、介護を受け始めるためにはどうしているのか。  
→現在和泉には1人暮らしが50世帯ほどあり、在宅介護支援センターへの相談、月に1度の和いずみ安心の会、民生委員や診療所との連携などを行っています。
- ・介護の成果はあったのか。  
→デイサービス利用の際には、通所介護計画書を作り、短期目標と長期目標を定めて、その目標を達成できるように支援していく仕組みになっています。